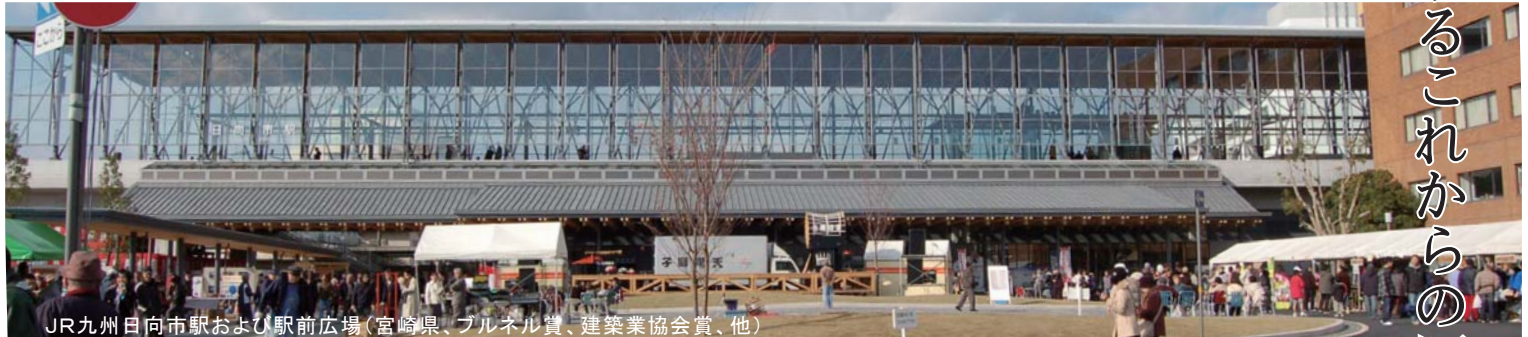


九州におけるこれからの景観デザインを考える。



朧大橋(福岡県、土木学会デザイン賞優秀賞、田中賞)



JR九州日向市駅および駅前広場(宮崎県、ブルネル賞、建築業協会賞、他)



長崎水辺の森公園(長崎県、土木学会デザイン賞優秀賞、グッドデザイン賞金賞)



日南油津・堀川運河(宮崎県、グッドデザイン賞特別賞)

※写真の4事例は、篠原氏が九州において設計指導・監修された構造物・空間の一例です。

第5回 風景デザインワークショップ アクロス福岡 1F 円形ホール 参加費無料

座談会 平成22年6月11日(金) 14:30 - 17:30

テーマ | 『九州におけるこれからの景観デザインを考える。』

講師 | 篠原 修氏[政策研究大学院大学教授/東京大学名誉教授]

司会 | 星野裕司氏[熊本大学准教授]

事例発表会 平成22年6月12日(土) 10:00 - 16:30

①「小戸之橋 市民と創る歩いて楽しい橋づくり」

②「子守唄の里 五木の村づくり」

③「柴北川プロジェクト 暮らしを守り風景を育てる」

[講師紹介]



篠原 修(しのはら おさむ)

1945年 栃木県生まれ、神奈川県育ち

1971年 東京大学大学院土木工学専攻修士課程修了

1971年 アーバンインダストリー入社

1989年 東京大学工学部助教授

1991年 東京大学工学部教授

現在 政策研究大学院大学教授、
東京大学名誉教授、工学博士

篠原氏は1960年代から景観に関する研究をはじめ、橋梁、街路、水辺、公園、都市などの景観に関する論文やデザインガイドラインなどの文献を執筆するかわら、実際に土木構造物の景観デザインや都市や農村の景観計画の実践に取り組んできた日本における景観デザインのパイオニア的な先生です。

2005年には、土木、建築、都市計画、造園、インダストリアルデザインなどの都市景観に関連した異なる職域によるデザイン・コラボレーションの必要性を提唱し、「GSデザイン会議」(GSはグラウンドスケープの略)を発足し、現在も全国各地で土木構造物や公共空間などの設計指導・監修を行ってられます。

[おもな著作]

『土木景観計画』技報堂、『橋の景観デザインを考える』編共著 技報堂、
『日本の水景-持続する僕の風景』鹿島出版会、『景観用語辞典』編著 彰国社、
『土木造形家百年の仕事』新潮社、『土木デザイン論』東京大学出版会、
『都市の水辺をデザインする-グラウンドスケープ群団奮闘記-』編共著 彰国社

風景デザイン研究会

[主催] ー絶え間ない実践のなかで美しい風景を創るー
www.fukei-design.com

[協賛] (社)建設コンサルタンツ協会 九州支部

九州におけるこれからの景観デザインを考える。

豊かな自然と人の情けに溢れる故郷を再び取り戻すためには、まずその器である公共空間を守り、育てることが大切です。人々が暮らす場所こそが、心地よく整えられておく必要があります。さらに、景観法の施行により、「美しい地域」を創ることが住民の目標となりました。しかし、現実には縦割りの事業計画による全体性の欠如、調査から施工まで引き継がれるべき設計意図の一貫性の喪失、官民の担当者のめまぐるしい異動による長期事業における責任の所在の不明確さ等々、問題は山積しています。

これらの諸問題を解決するためには、風景に関わるすべての人が、自ら汗をかくと同時に、互いの垣根を取り払いともに働く必要があります。しかも、そのような活動は、子供たち、孫たちの時代に実を結ぶような息の長いものになるはずです。まずは、志を同じくする人々が集い意見や情報を交換する場が必要であると考えました。また、そのような場をもとに、実際の仕事が動いていくような組織を作ることも重要です。さらに、このような活動を各地域で担っていく人材の育成も急を要する問題です。

このような問題意識に基づいて結成された風景デザイン研究会では、第5回風景デザインワークショップを開催します。

初日のシンポジウムでは、わが国の景観工学、土木デザインのパイオニアである篠原修氏（政策研究大学院大学／東京大学名誉教授）を囲んだ座談会形式とし、九州におけるこれからの景観デザインを会場の皆さんとともに考える機会にしたいと考えています。

二日目の事例発表会では、土木学会デザイン賞優秀賞や日本造園学会賞（技術部門）を受賞された「子守唄の里 五木の村づくり」をはじめとして、市民参加の橋梁のデザインに取り組んでいる「小戸之橋」、「暮らしを守り風景を育てる」を活動テーマにした「柴北川プロジェクト」について、行政担当者や地元住民、専門家等の関係者が発表します。

充実したプログラムを用意しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。

なお、会場の都合上、収容人数を超えた時点で締め切りとさせていただきます。

風景デザイン研究会

座談会

日時 | 平成22年6月11日（金） 14:30 - 17:30

場所 | アクロス福岡 1F 円形ホール

参加者 | 参加者150名 ※申込不要・参加費無料・先着順（14:00受付開始）

テーマ | 『九州におけるこれからの景観デザインを考える。』

講師 | 篠原 修氏 [政策研究大学院大学教授／東京大学名誉教授]

司会 | 星野裕司氏 [熊本大学准教授]

事例発表② 12:45 - 14:30

『子守唄の里 五木の村づくり』

（土木学会デザイン賞優秀賞、日本造園学会賞（技術部門））

コーディネータ：田中尚人氏 [熊本大学准教授]

パネリスト：和田拓也氏 [五木村長]

石田和男氏 [五木村総務課長]

徳永 哲氏 [（株）エスティ環境設計研究所所長]

事例発表会

日時 | 平成22年6月12日（土） 10:00 - 16:30

場所 | アクロス福岡 1F 円形ホール

参加者 | 参加者150名 ※申込不要・参加費無料・先着順（9:30受付開始）

事例発表③ 14:45 - 16:30

『柴北川プロジェクト 暮らしを守り風景を育てる』

（九州 郷づくり共助ネットワーク研究会（共助研）プロジェクト）

コーディネータ：高尾忠志氏 [九州大学特任助教]

パネリスト：渡邊雪法氏 [柴北川を愛する会]

幸野敏治氏 [大野川流域ネットワークキング]

木寺佐和記氏 [共助研／西日本技術開発（株）]

波木健一氏 [共助研／（株）福山コンサルタント]

前田 武氏 [共助研／ジェイアール九州コンサルタツク（株）]

事例発表① 10:00 - 11:45

『小戸之橋 市民と創る歩いて楽しい橋づくり』

（熊本大学・宮崎大学・宮崎市連携プロジェクト）

コーディネータ：小林一郎氏 [熊本大学教授]

パネリスト：松葉 勲氏 [宮崎市市街地整備課]

出口近土氏 [宮崎大学准教授]

吉武哲信氏 [宮崎大学准教授]

増山晃太氏 [熊本大学学術研究員]

【お問い合わせ】

風景デザイン研究会 事務局

九州大学建設設計工学研究室 高尾忠志

TEL : 092-802-3392 MAIL : takao@doc.kyushu-u.ac.jp

